

# JVCケンウッド 決算説明資料

## 2025年3月期第1四半期（IFRS）

株式会社JVCケンウッド

2024年8月1日



- \* 本資料の数値は全てIFRS（国際財務報告基準）となっています。
- \* 本資料における比率・差額については、円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入しています。

## ■ 2025年3月期 1Q実績

- ✓ 売上収益は、S&S 無線システムの販売好調継続、M&T 海外OEMの販売好調などから、前期比で増収
- ✓ 本業のもうけを示す事業利益※は、M&T、S&S、ESの3分野全てが前期比で増益となり、営業利益以下の段階損益も前期比で増益
- ✓ S&S 無線システムの1Q事業利益は、四半期として経営統合以降の最高益
- ✓ 中期経営計画「VISION2025」の中間年度となる当期（2025年3月期）は、最終年度の目標達成に向けて好調なスタート

1. 2025年3月期1Q決算概況
2. 2025年3月期通期業績予想
3. トピックス

＜参考資料＞

**1. 2025年3月期1Q決算概況**

2. 2025年3月期通期業績予想

3. トピックス

〈参考資料〉

# 2025年3月期1Q決算 全社実績

(億円)

	'22/3期 1Q	'23/3期 1Q	'24/3期 1Q	'25/3期 1Q	前年比	
<b>売上収益</b>	<b>645</b>	<b>720</b>	<b>856</b>	<b>878</b>	<b>+ 22</b>	<b>+2.5%</b>
売上原価	473	532	594	594	+ 0	+0.0%
売上総利益	172	188	262	284	+ 22	+8.2%
利益率	26.7%	26.2%	30.6%	32.3%		
<b>事業利益<sup>※1</sup></b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>50</b>	<b>60</b>	<b>+ 9</b>	<b>+18.6%</b>
利益率	0.6%	0.6%	5.9%	6.8%		
その他の収益・費用、為替差損益等	25	1	△ 0.3	0.5	+ 1	-
<b>営業利益</b>	<b>29</b>	<b>5</b>	<b>50</b>	<b>60</b>	<b>+ 10</b>	<b>+20.2%</b>
利益率	4.5%	0.7%	5.9%	6.9%		
<b>税引前四半期利益</b>	<b>28</b>	<b>5</b>	<b>49</b>	<b>70</b>	<b>+ 21</b>	<b>+42.6%</b>
親会社の所有者に帰属する						
<b>四半期利益</b>	<b>15</b>	△ <b>2</b>	<b>35</b>	<b>55</b>	<b>+ 20</b>	<b>+58.3%</b>
<b>EBITDA<sup>※2</sup></b>	<b>77</b>	<b>50</b>	<b>95</b>	<b>117</b>	<b>+ 22</b>	<b>+22.7%</b>
EBITDAマージン	11.9%	7.0%	11.1%	13.3%		

※1:売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まない。

※2:税引前利益+支払利息+減価償却費+減損損失で計算

(円)

(円)

		'22/3期					'23/3期					'24/3期					'25/3期					
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
損益為替レート	1米ドル	110	110	114	116	112	130	138	141	132	135	137	145	148	149	145	156					
	1ユーロ	132	130	130	130	131	138	139	144	142	141	150	157	159	161	157	168					

# 2025年3月期1Q決算 分野別の状況

(億円)

		'22/3期 1Q	'23/3期 1Q	'24/3期 1Q	'25/3期 1Q	前年比	
M&T	売上収益	387	439	473	<b>479</b>	+ 6	+1.3%
	事業利益	2	△ 3	4	<b>6</b>	+ 2	+47.4%
S&S	売上収益	126	140	220	<b>242</b>	+ 22	+10.1%
	事業利益	△ 4	7	41	<b>45</b>	+ 4	+9.8%
ES	売上収益	119	129	140	<b>134</b>	△ 6	-4.1%
	事業利益	6	△ 1	5	<b>7</b>	+ 2	+46.4%
その他	売上収益	14	13	22	<b>22</b>	△ 1	-3.7%
	事業利益	△ 0	1	△ 0	<b>1</b>	+ 1	-
合計	売上収益	645	720	856	<b>878</b>	+ 22	+2.5%
	事業利益	4	4	50	<b>60</b>	+ 9	+18.6%

## M&T

アフターマーケット、テレマティクスサービスの販売減影響に加え、為替ヘッジによるマイナス影響約3億円の影響を受けたものの、海外OEMの販売好調により、分野全体では増収増益

## S&S

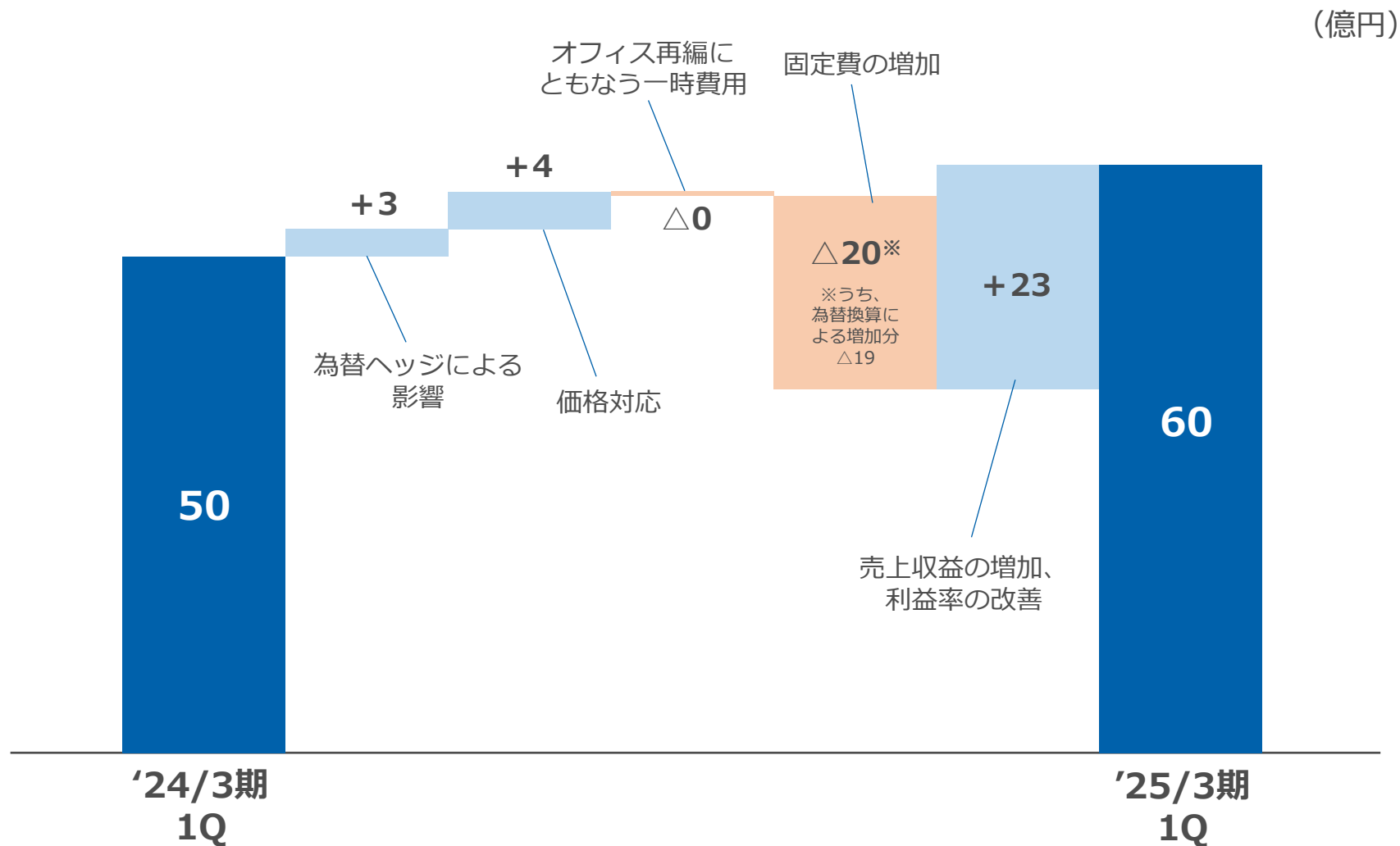
無線システムが人員増などにもなう固定費増加の影響を受けたものの、北米の公共安全市場において、業務用無線機の販売が好調に推移したことなどから、分野全体で増収増益。無線システムは四半期では過去最高益

## ES

エンタテインメントが減収となるも、メディアが増収となったことに加え、前期に実施した構造改革効果の発現により固定費が改善したことなどから、分野全体では減収増益

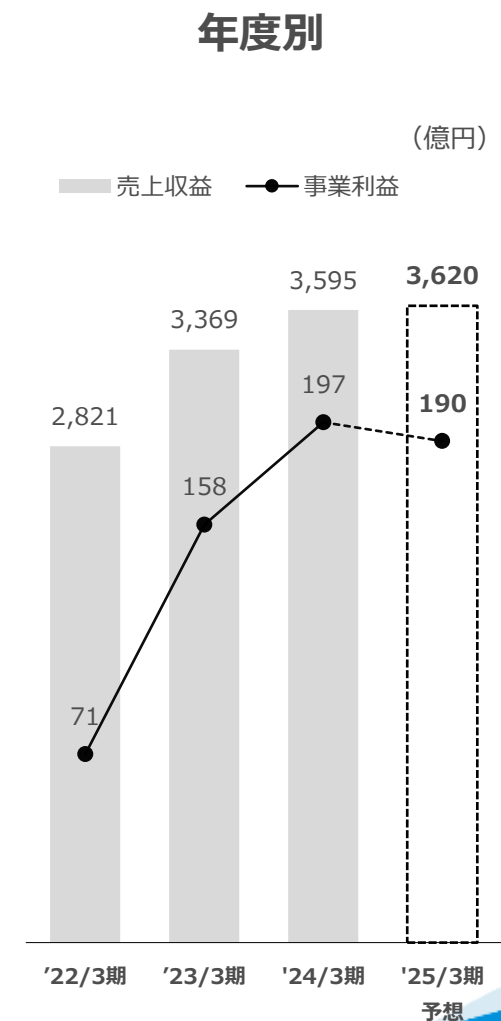
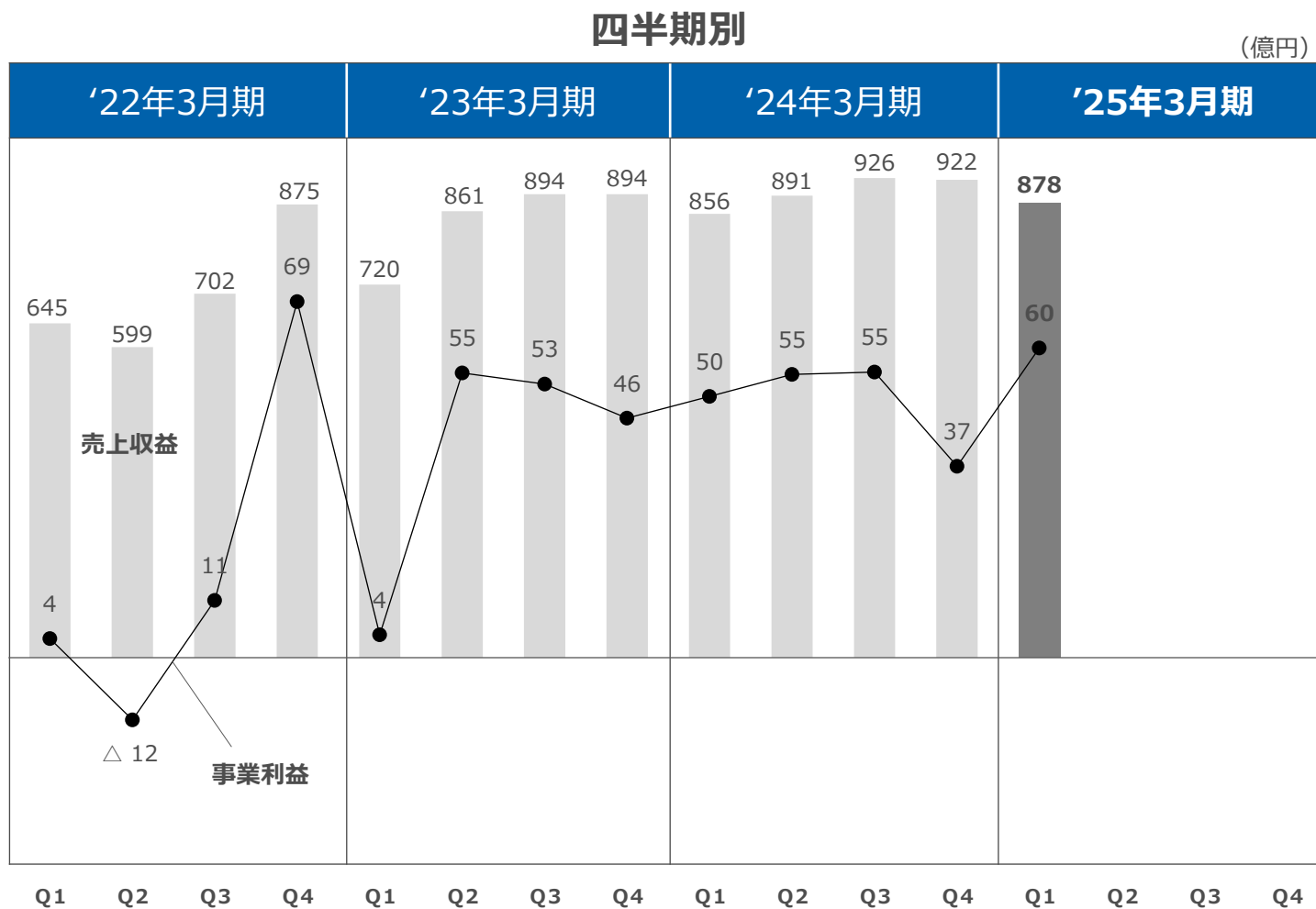
# 2025年3月期1Q決算 事業利益の増減要因

- 固定費の増加を、売上収益の増加、価格対応などでカバーし、前期比で増益



# 全社実績推移

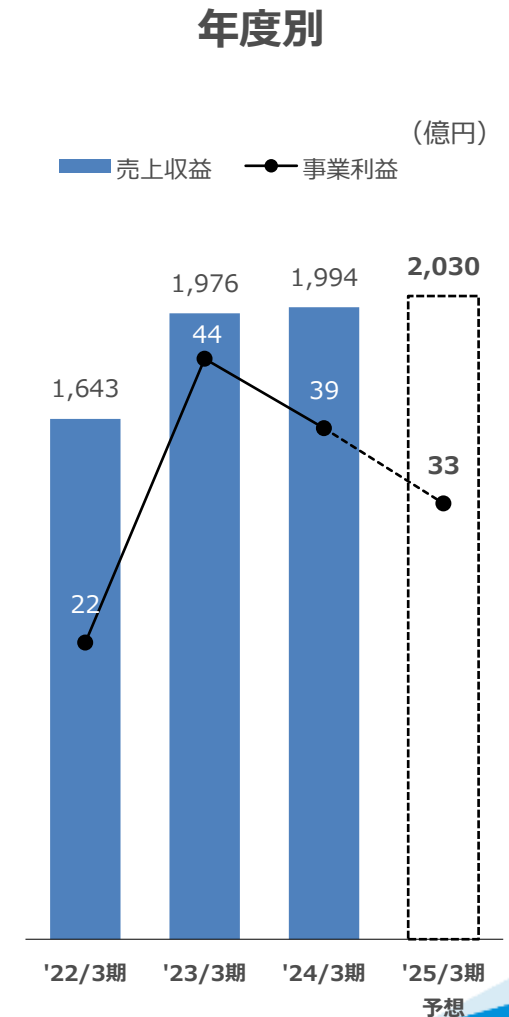
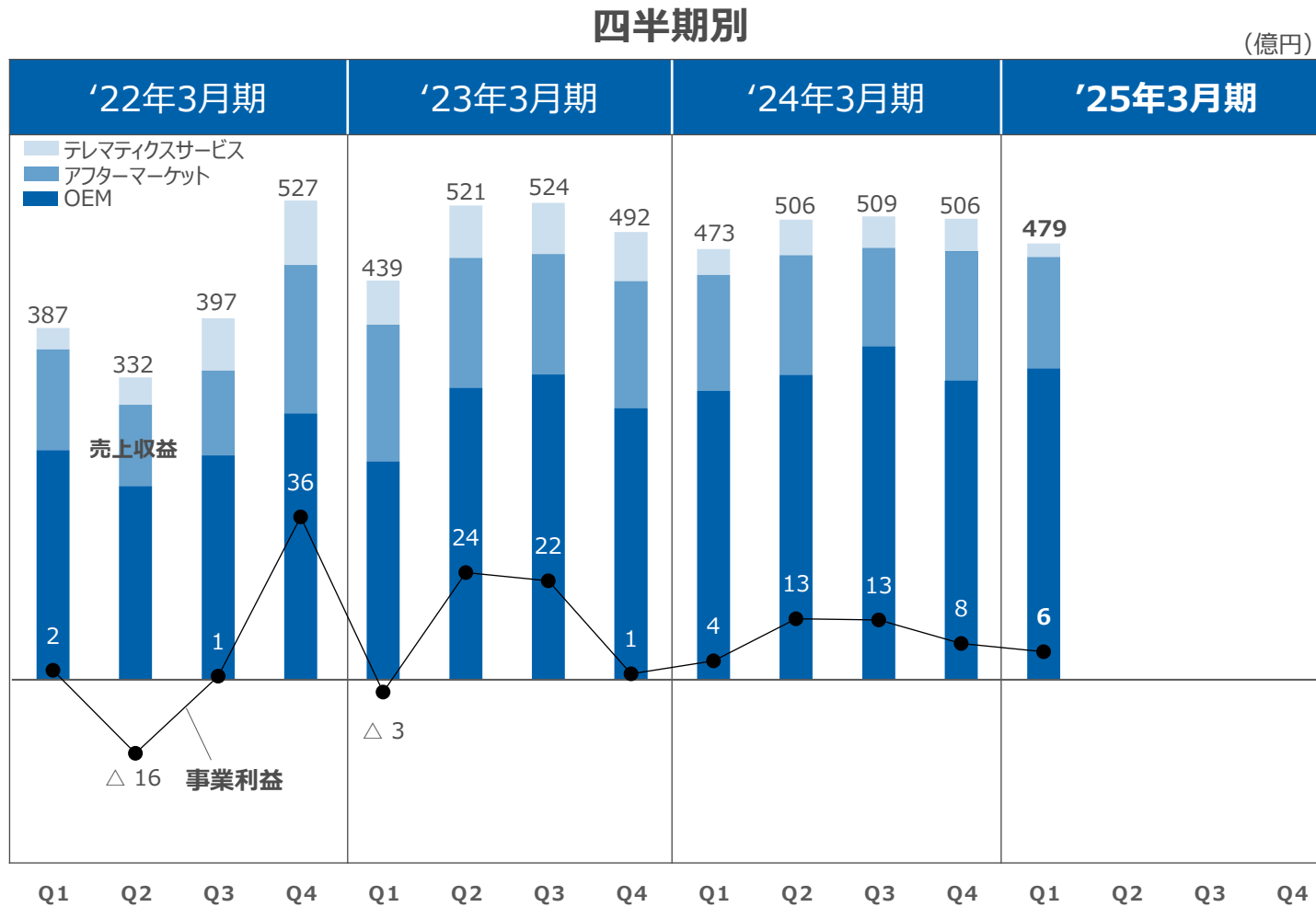
- 1Q（4-6月）は、S&S無線システムの公共安全市場向けの販売好調、M&T海外OEMの販売堅調などから、全社では前期比で増収増益





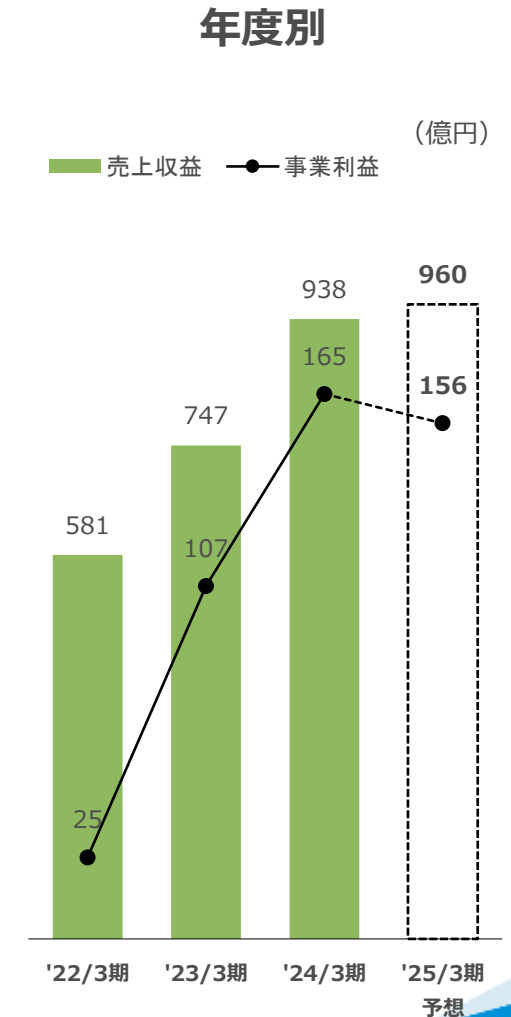
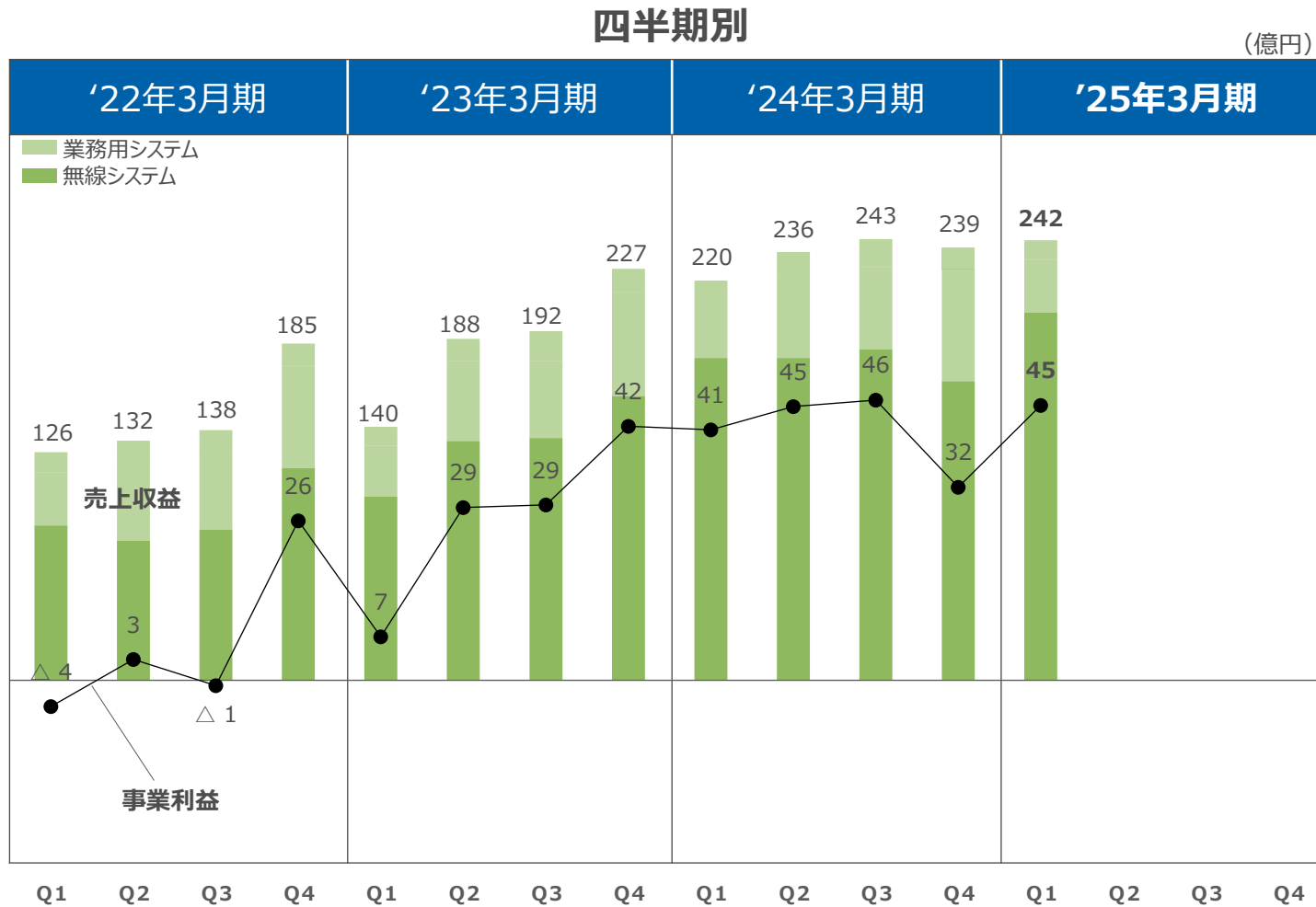
# M&T 売上収益・事業利益推移

- 1Q（4-6月）は、テレマティクスサービスの販売減影響、為替ヘッジによるマイナス影響約3億円など受けるも、海外OEMが堅調に推移したことなどから、分野全体では前期比で増収増益



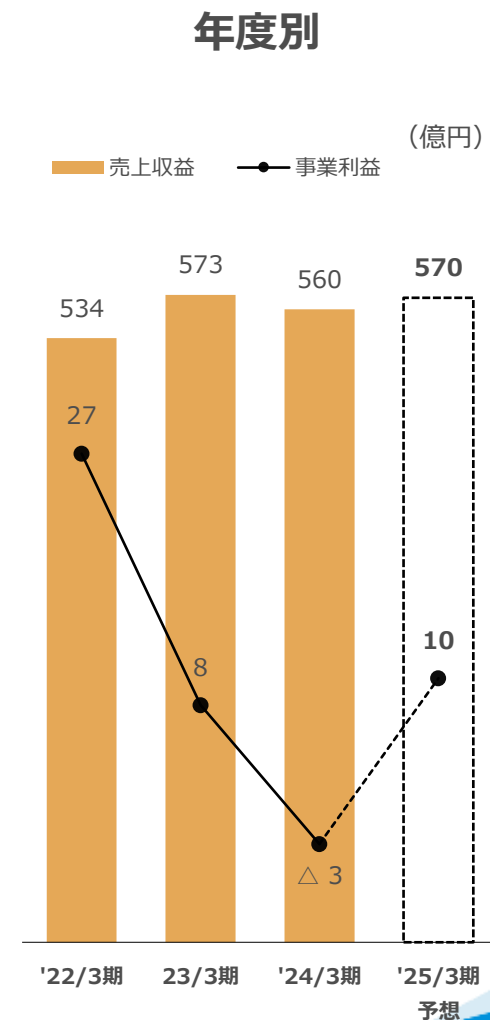
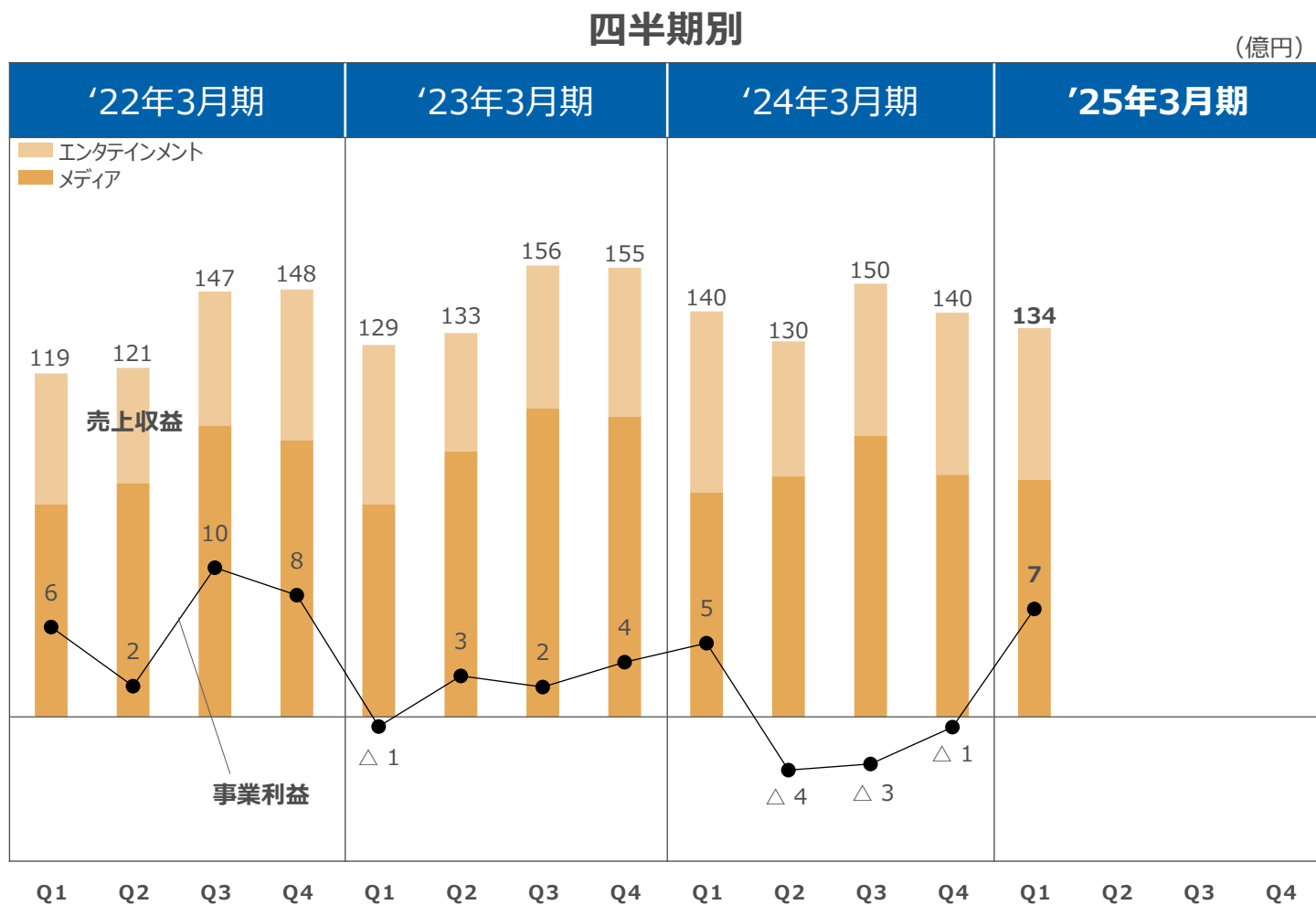
# S&S 売上収益・事業利益推移

- 1Q（4-6月）は、無線システムの北米公共安全市場向けの販売好調により、分野全体では前期比で増収増益。無線システムの事業利益は、四半期として経営統合以降の最高益



# ES 売上収益・事業利益推移

- 1Q（4-6月）は、エンタテインメントが減収も、メディアが増収に加えて前期に実施した構造改革効果の発現により固定費が改善したことなどから、前期比で増益

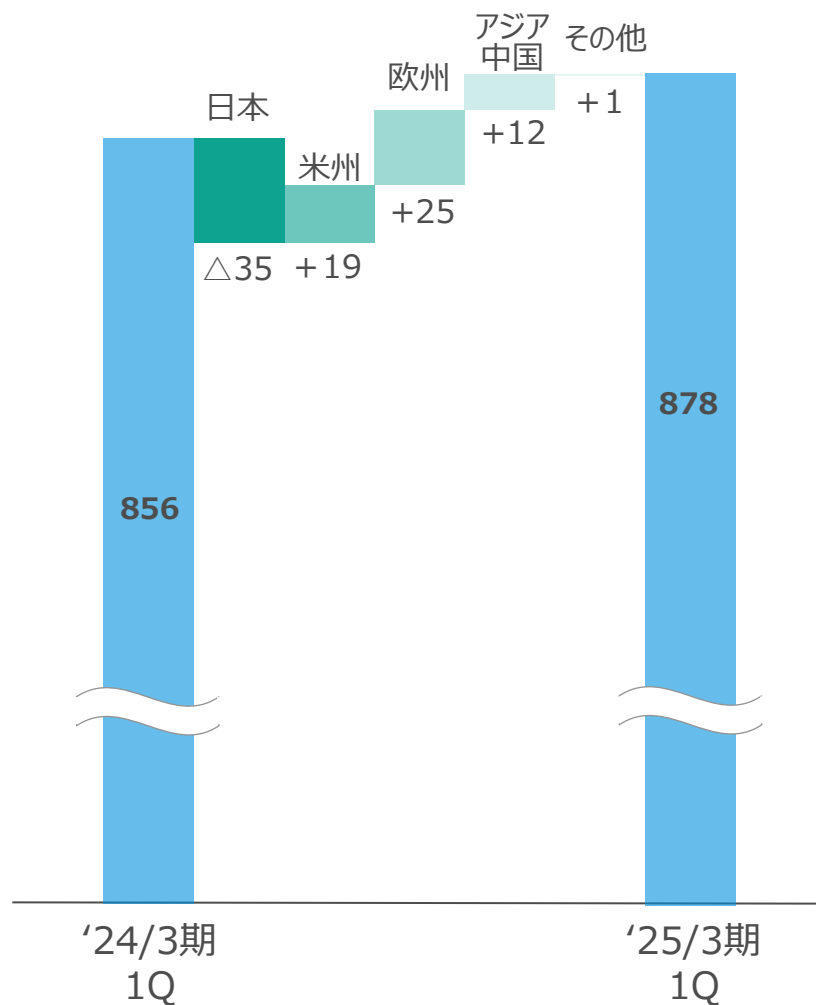


# 2025年3月期1Q決算 地域別連結売上収益

- 無線システムの北米向け公共安全市場販売好調、海外OEMの好調により、欧米及びアジア・中国で増収

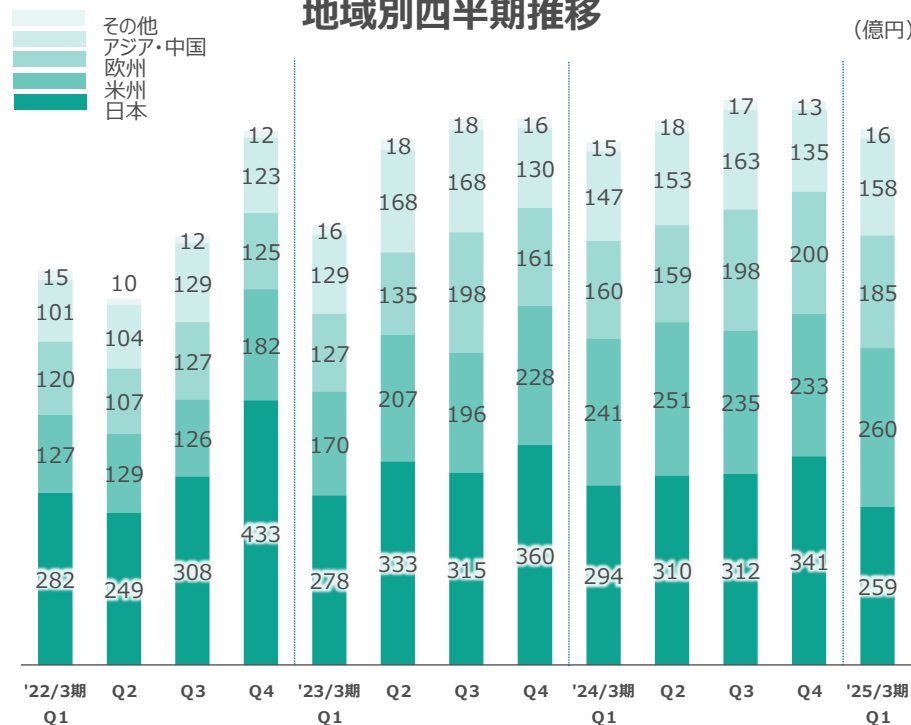
地域別増減

(億円)



地域別四半期推移

(億円)



地域別構成比推移

	'22/3期1Q	'23/3期1Q	'24/3期1Q	'25/3期1Q
日本	44%	39%	34%	29%
米州	20%	24%	28%	<b>30%</b>
欧州	19%	18%	19%	<b>21%</b>
アジア・中国	16%	18%	17%	<b>18%</b>
その他	2%	2%	2%	2%
合計	100%	100%	100%	100%

# 2025年3月期1Q決算 連結損益サマリー

- 事業利益の増加により営業利益は約10億円の増益
- 持分法による投資利益が増加したことにより、税引前利益以下の段階損益は約20億円の増益

	'22/3期 1Q	'23/3期 1Q	'24/3期 1Q	'25/3期 1Q	(億円) 前年比
事業利益	3.7	4.4	<b>50.4</b>	<b>59.8</b>	+ 9.4
その他の収益・費用、為替差損益等	25.0	0.7	△ 0.3	0.5	+ 0.8
営業利益	28.7	5.2	<b>50.1</b>	<b>60.2</b>	+ 10.1
金融収支他	△ 0.7	0.2	△ 1.4	9.3	+ 10.7
税引前利益	28.0	5.4	<b>48.7</b>	<b>69.5</b>	+ 20.8
法人所得税費用	11.8	6.2	12.6	11.5	△ 1.1
非支配持分	1.5	1.7	1.4	3.0	+ 1.6
親会社の所有者に帰属する当期利益	14.7	△ 2.5	<b>34.8</b>	<b>55.0</b>	+ 20.3

# 2025年3月期1Q決算 財政状態サマリー

- 親会社の所有者に帰属する持分は、利益剰余金とその他の資本の構成要素の増加により、前期末比で103億円増の1,251億円
- 前期末にネットデットから転換したネットキャッシュは、前期末の6億円から24億円改善して29億円に増加

(億円)

	'22/3期末	'23/3期末	'24/3期末	'24/3期 1Q	前期末比
資産合計	2,808	2,994	3,168	<b>3,269</b>	+ 101
負債合計	1,968	1,956	1,956	<b>1,947</b>	△ 9
資本合計	840	1,037	1,212	<b>1,323</b>	+ 110
有利子負債	698	625	573	<b>514</b>	△ 59
ネットキャッシュ	△ 211	△ 63	6	<b>29</b>	+ 24
ネットD/Eレシオ (倍)	0.27	0.06	△ 0.01	△ <b>0.02</b>	△ 0.01
親会社の所有者に帰属する持分	795	988	1,148	<b>1,251</b>	+ 103
親会社所有者帰属持分比率 (%)	28.3	33.0	36.2	<b>38.3</b>	+2.1pt

# 2025年3月期1Q決算 キャッシュ・フローサマリー

- 営業キャッシュ・フローは、事業利益の増加に加えて、主に製品在庫削減による運転資金の改善などにより、前期比で大きく収入が増加
- 投資キャッシュ・フローは、開発投資や生産増強投資などの支出増により、前期比で支出が増加
- 財務キャッシュ・フローは、有利子負債の返済を進めたことから、前期比で支出が増加

(億円)

	'22/3期 1Q	'23/3期 1Q	'24/3期 1Q	'25/3期 1Q	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	11	30	<b>1</b>	<b>89</b>	+ 88
投資活動によるキャッシュ・フロー	19	△ 44	△ <b>45</b>	△ <b>53</b>	△ 9
フリー・キャッシュ・フロー <small>(営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー)</small>	30	△ 14	△ <b>43</b>	<b>36</b>	+ 79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 34	△ 34	△ <b>82</b>	△ <b>95</b>	△ 14
合計	△ 5	△ 48	△ <b>125</b>	△ <b>59</b>	+ 66

1. 2025年3月期1Q決算概況

2. 2025年3月期通期業績予想

3. トピックス

<参考資料>



# 2025年3月期通期業績予想

- 1QはS&Sの無線システムが、北米の公共安全市場において、業務用無線機の販売が好調に推移したことなどから、全社では期初の想定を大きく上回る実績
- 2Q以降についても引き続き好調な販売が見込まれるが、現時点では連結業績予想の修正は行わない

(億円)

	'22/3期	'23/3期	'24/3期	'25/3期予想 ( '24/4/26発表 )	前年比	
売上収益	2,821	3,369	3,595	<b>3,620</b>	+ 25	+0.7%
事業利益	71	158	197	<b>190</b>	△ 7	-3.6%
営業利益	91	216	182	<b>182</b>	△ 0	-0.1%
税引前利益	85	212	182	<b>180</b>	△ 2	-1.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	59	162	130	<b>125</b>	△ 5	-4.0%
ROE (%)	8.1	18.2	12.2	<b>10.5</b>	△1.7pt	-

(円)

	'22/3期	'23/3期	'24/3期	'25/3期予想 ( '24/4/26発表 )
年間配当金	6	12 <sup>※1</sup>	12	<b>13<sup>※2</sup></b>

※1：うち、特別配当5円

※2：中間配当金 5円、期末配当金 8円

(円)

		'22/3期	'23/3期	'24/3期	'25/3期想定
損益為替レート	1米ドル	112	135	145	<b>147</b>
	1ユーロ	131	141	157	<b>159</b>

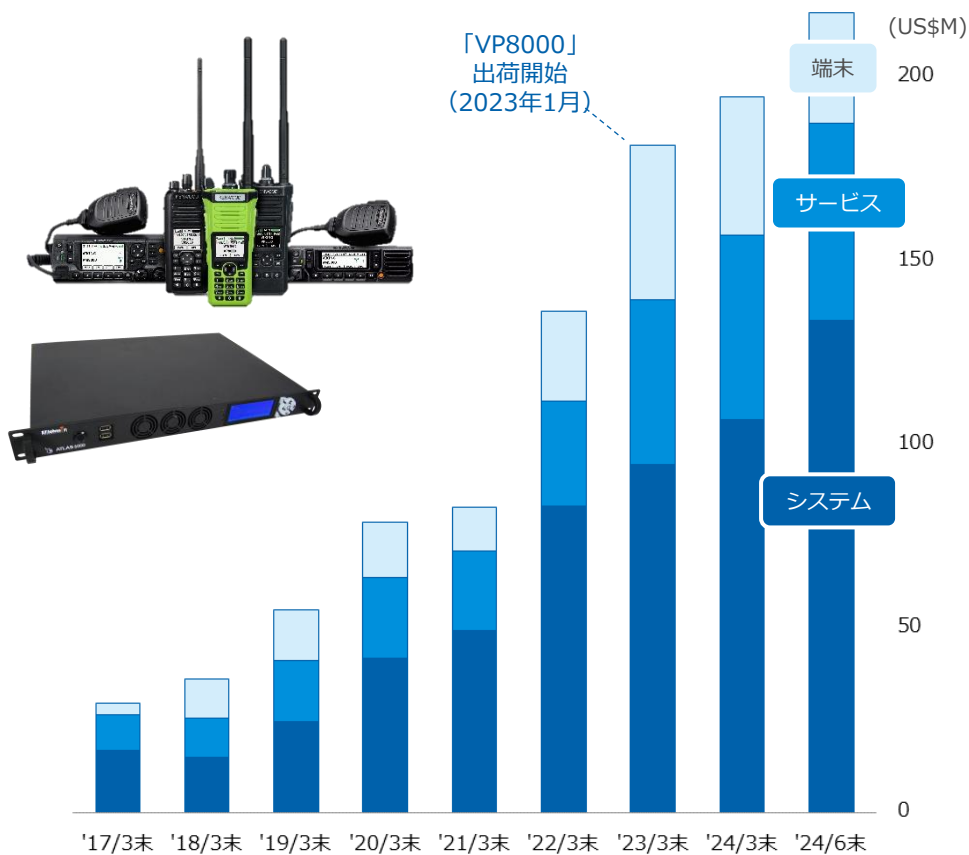
1. 2025年3月期1Q決算概況
2. 2025年3月期通期業績予想
3. **トピックス**

＜参考資料＞

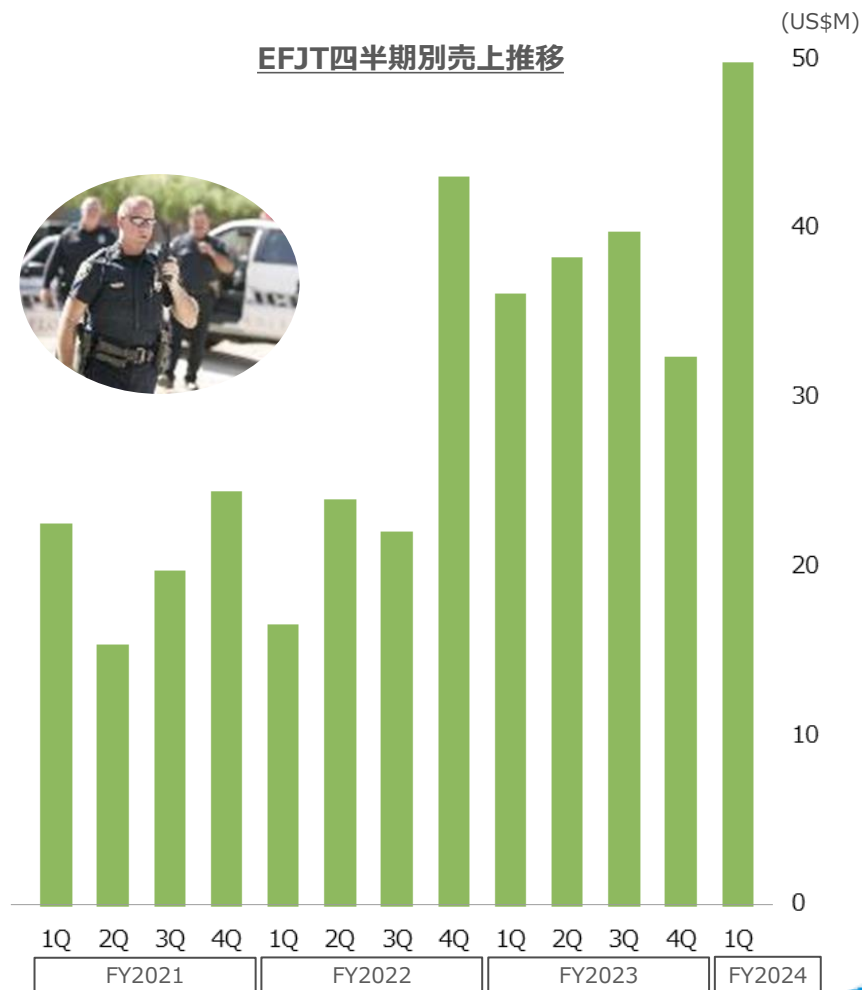
# S&S 無線システム事業 北米公共安全市場の販売好調①

- トライバンド※1対応P25※2無線機「VP8000」導入以降、北米公共安全市場向け（EFJT※3）の受注残は順調に増加し、USD200milを突破
- 1Qはシステム受注増に加え、短納期である端末単独の受注・売上も増加

EFJT受注残推移



EFJT四半期別売上推移



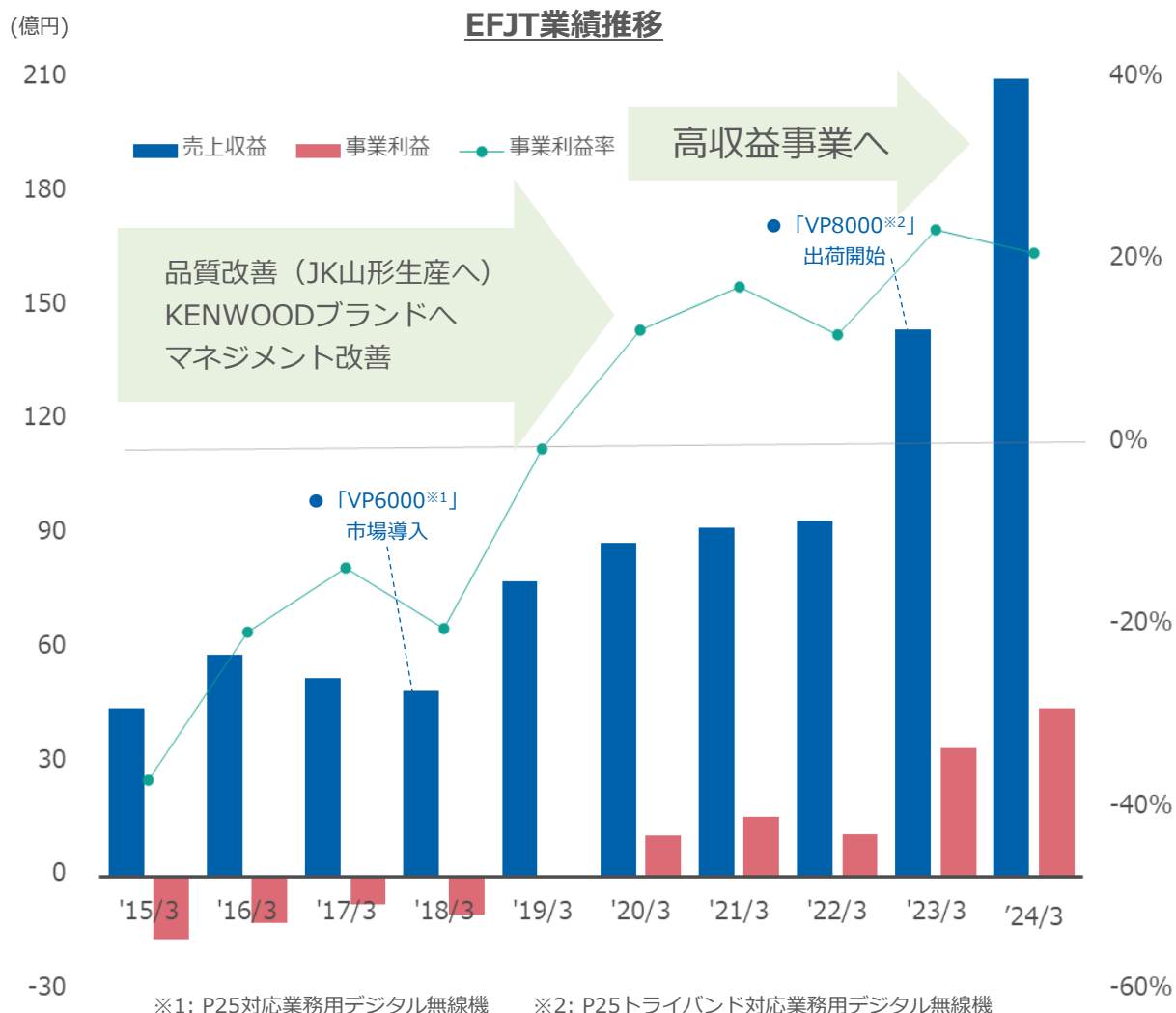
※1: VHF/UHFに加え、700/800MHzの周波数帯域にも対応

※2: 米国の公共安全市場向けに開発されたデジタル無線規格

※3: EF Johnson Technologies, Inc.

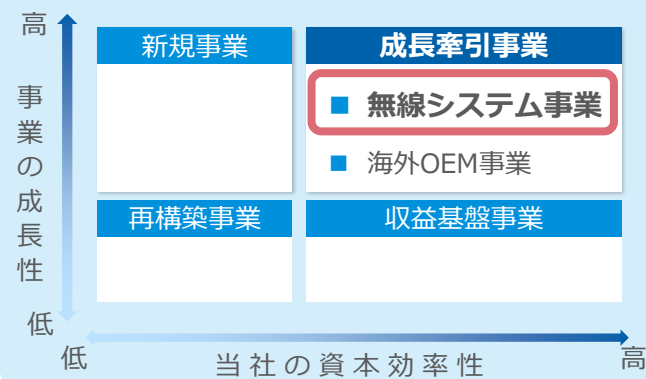
# S&S 無線システム事業 北米公共安全市場の販売好調②

## ■ EFJTが高収益な事業体に成長し、北米公共安全市場でのポジションを確立



### 中期経営計画「VISION2025」

<事業ポートフォリオの再定義>



# ESGに関する外部評価



JK Sustainability

- ESG指数FTSE構成銘柄に継続選定。スコアは3.9（2023年）から4.2（2024年）と0.3ポイントアップ

	2024年度	備考
<p><b>FTSE Blossom Japan Index</b></p>  <p><b>FTSE Blossom Japan Index</b></p>	<p>4年連続で選定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英国FTSE Russell社が作成したESGに主眼を置いた指数</li> <li>SDGsを含むESGの対応に優れた日本企業を一定の評価基準に基づき選定</li> <li>GPIF※など世界中の投資家がESG投資の判断基準として活用</li> </ul> <p style="text-align: center;">Overall ESG Score 2023年度：3.9 → <b>2024年度：4.2</b></p>
<p><b>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</b></p>  <p><b>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</b></p>	<p>3年連続で選定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英国FTSE Russell社が2021年度から新しく公表した企業セクター別指標</li> <li>各セクターにおいて相対的にESGの対応に優れた日本企業を選定</li> <li>低炭素経済への移行を促進するため、温室効果ガス（GHG）排出に着目</li> <li>GPIFなど世界中の投資家がESG投資の判断基準として活用</li> </ul>

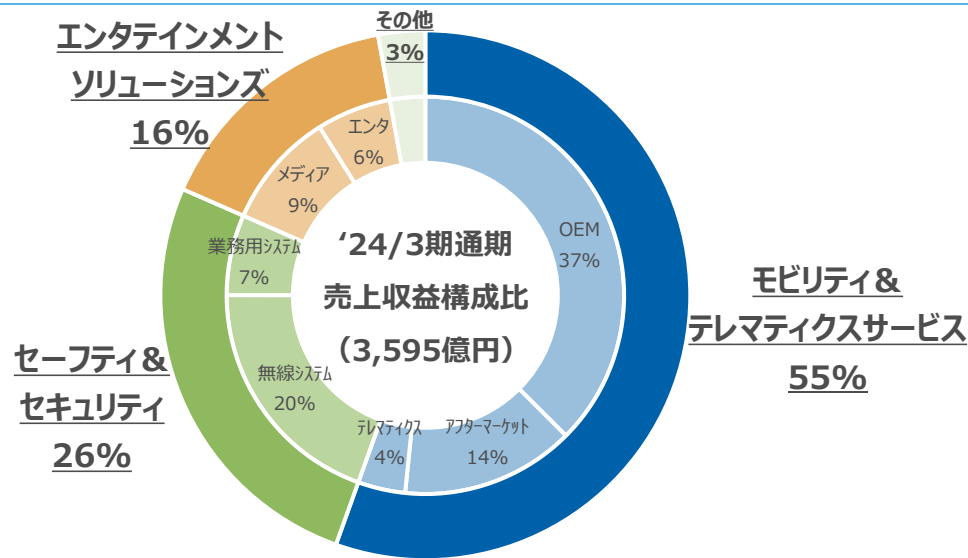
※GPIF:年金積立金管理運用独立行政法人

# JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1) 主要市場（日本、米州、欧州およびアジアなど）の経済状況および製品需給の急激な変動、(2) 国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3) ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4) 資本市場における相場の大幅な変動、(5) 急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。

# <参考資料>

# 事業内容



## セーフティ&セキュリティ分野 (S&S)

### 無線システム

業務用無線システム

小電カトランシーバー

### 業務用システム

セキュリティシステム

業務用放送システム

医用画像表示モニター

## モビリティ&テレマティクスサービス分野 (M&T)

### OEM

カーナビゲーション

カーオーディオ

電気自動車の再生バッテリーを利用したポータブル電源

### アフターマーケット

アルコール検知器

除菌消臭装置

テレマティクスサービス

ドライブレコーダー

通信型ドライブレコーダー

## エンタテインメントソリューションズ分野 (ES)

### メディア

ヘッドホン/イヤホン

オーディオシステム

ポータブル電源

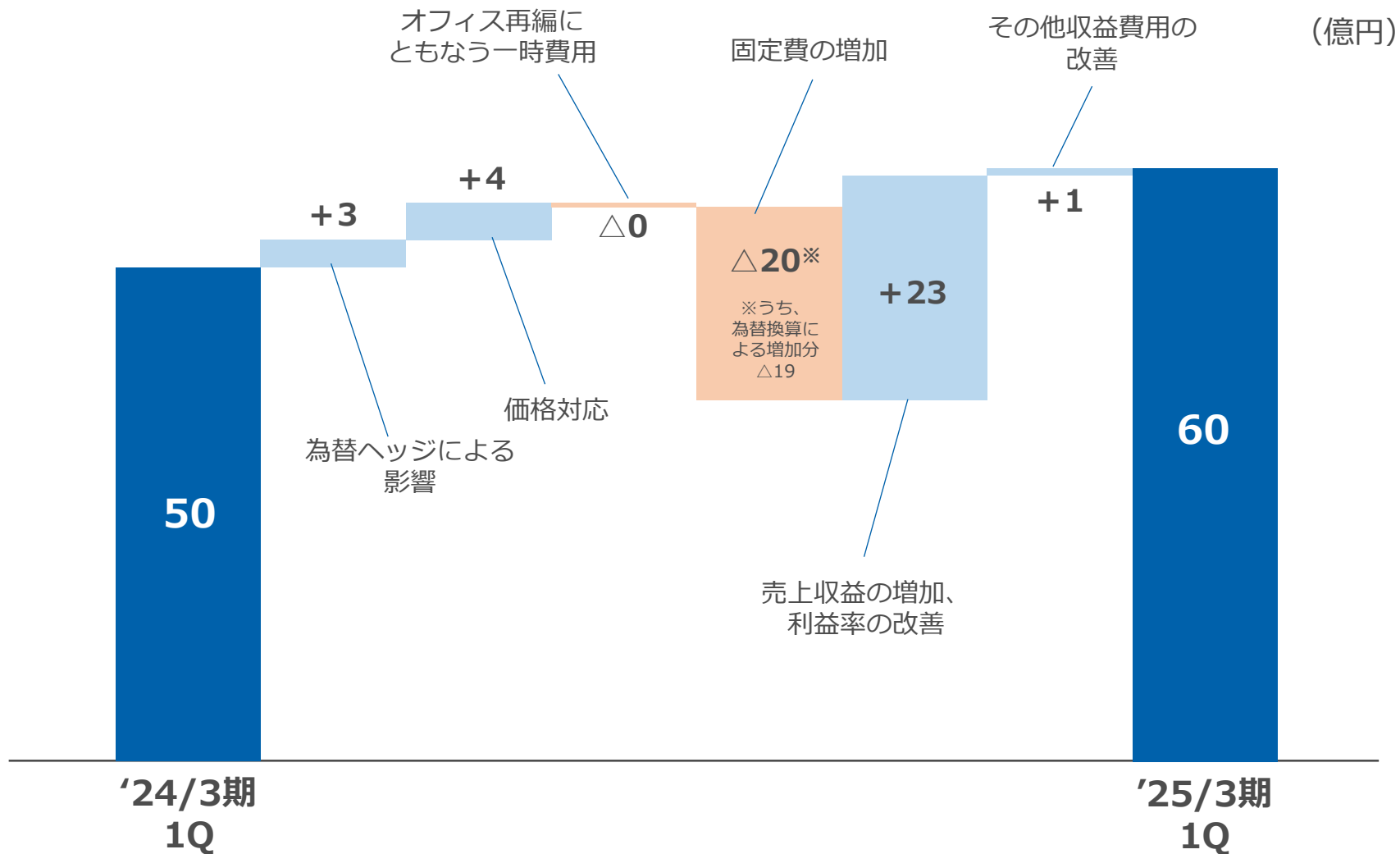
### エンタテインメント

プロジェクター

音楽・映像コンテンツ



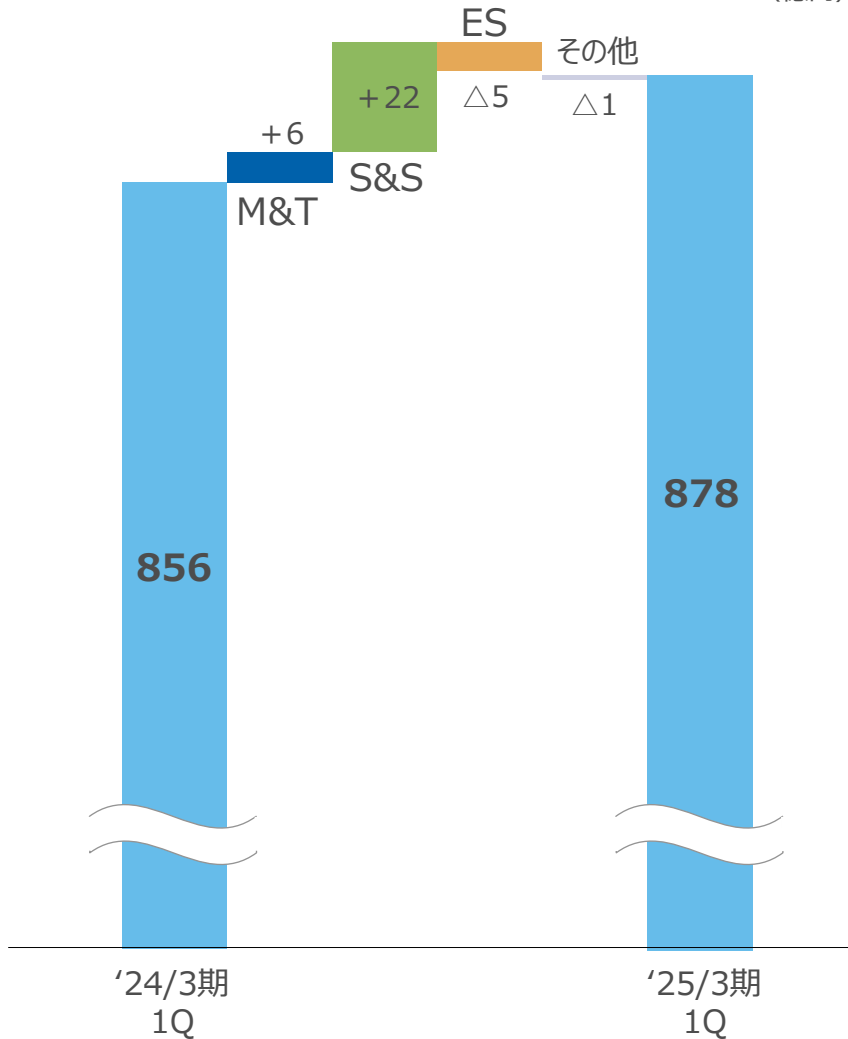
# 2025年3月期1Q決算 営業利益の増減要因



# 2025年3月期1Q決算 分野別連結売上収益・事業利益

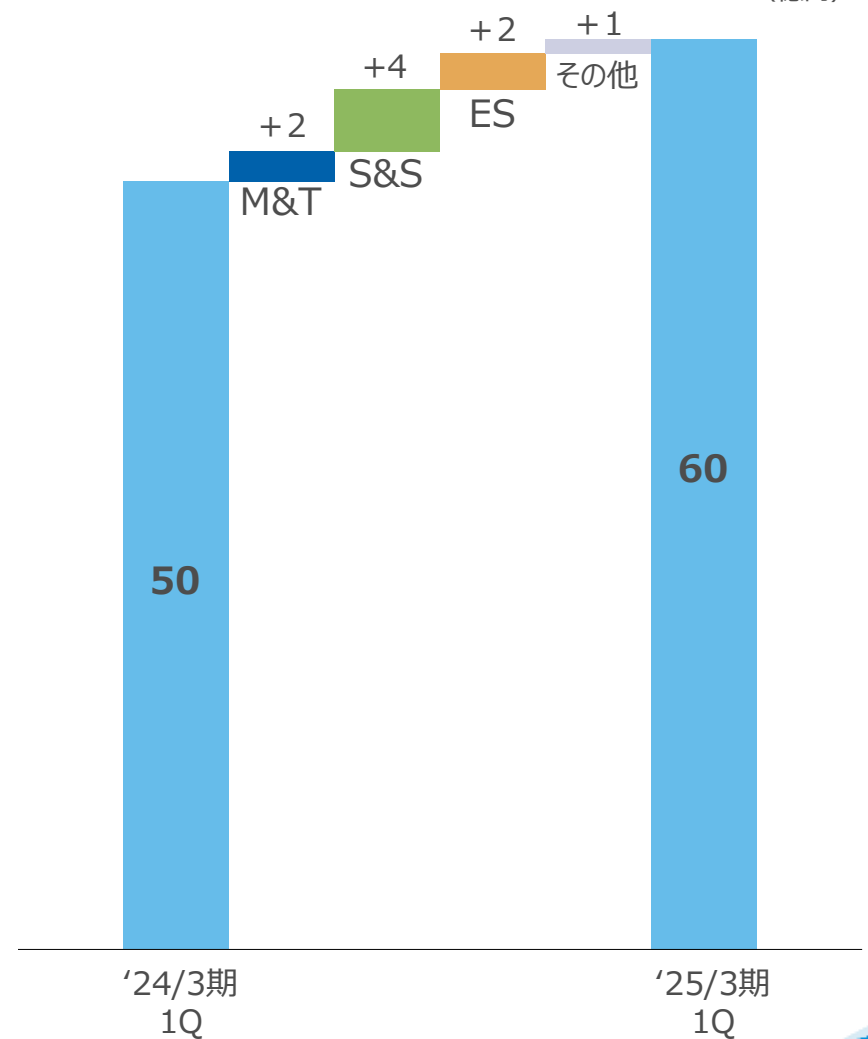
## 売上収益

(億円)



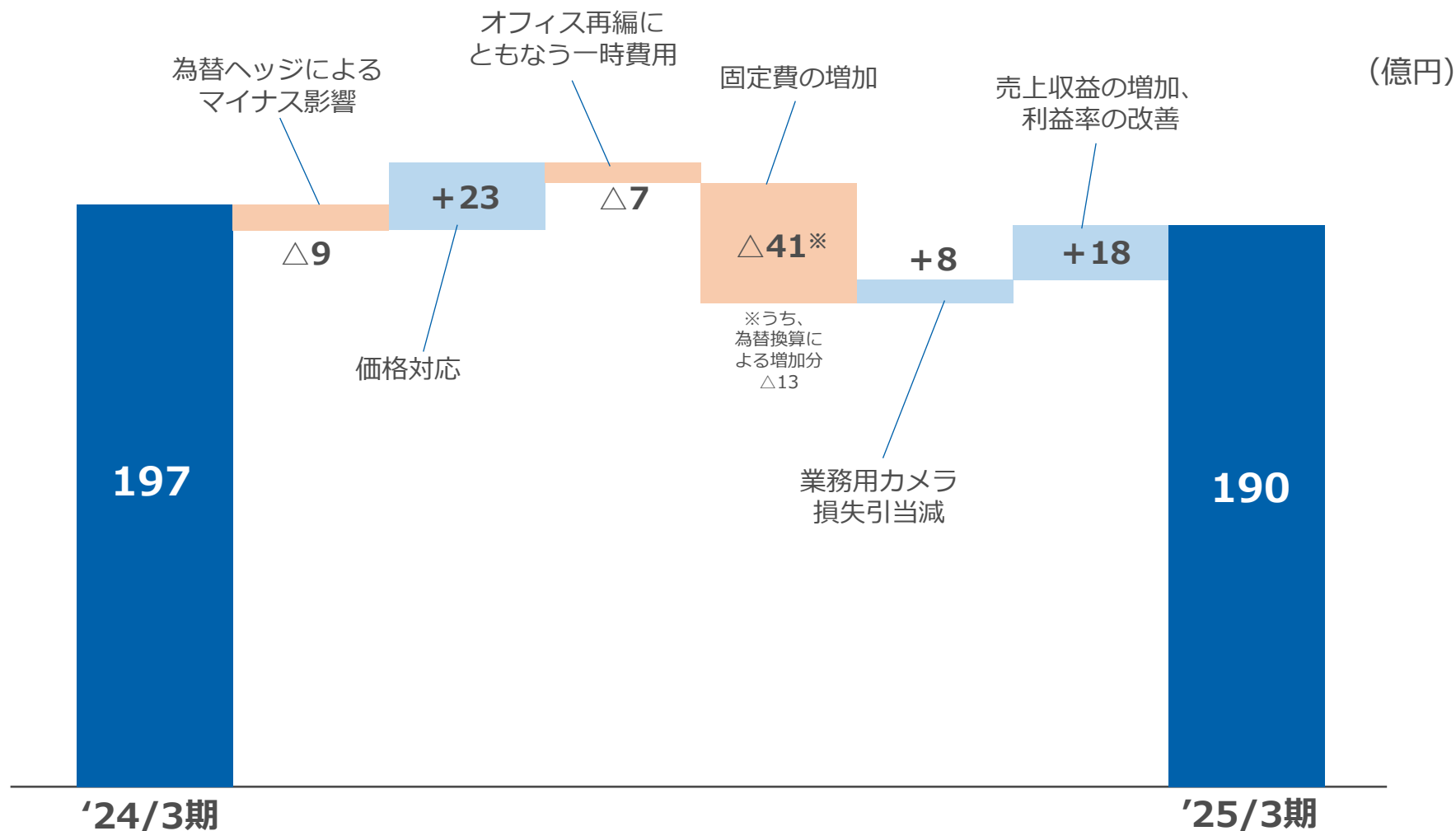
## 事業利益

(億円)



# 2025年3月期通期業績予想 事業利益の増減要因

## ■ 期初予想からの変更は無し



# 2025年3月期通期業績予想 分野別の状況

- 期初予想からの変更は無し

(億円)

		'22/3期 実績	'23/3期 実績	'24/3期 実績	'25/3期 予想 ( '24/4/26発表)	前年比
M&T	売上収益	1,643	1,976	1,994	<b>2,030</b>	+ 36
	事業利益	22	44	39	<b>33</b>	△ 6
S&S	売上収益	581	747	938	<b>960</b>	+ 22
	事業利益	25	107	165	<b>156</b>	△ 9
ES	売上収益	534	573	560	<b>570</b>	+ 10
	事業利益	27	8	△ 3	<b>10</b>	+ 13
その他	売上収益	63	74	103	<b>60</b>	△ 43
	事業利益	△ 3	△ 0	△ 4	<b>△ 9</b>	△ 5
合計	売上収益	2,821	3,369	3,595	<b>3,620</b>	+ 25
	事業利益	71	158	197	<b>190</b>	△ 7

# 経営指標推移

## 設備投資・減価償却費・研究開発費推移

(億円)

	'22/3期					'23/3期					'24/3期					'25/3期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	
設備投資* (有形+無形)	44	76	55	48	223	54	53	45	45	197	46	58	84	76	264	73					73
有形固定資産	22	52	30	20	124	33	30	28	23	114	26	35	61	49	170	41					41
無形固定資産	22	24	26	28	100	21	23	17	21	83	20	23	23	28	94	31					31
減価償却費	46	43	41	41	171	42	44	44	46	176	44	46	46	46	182	44					44
研究開発費	40	39	38	41	159	40	41	43	51	174	45	45	51	54	194	45					45

※ 有価証券報告書には、有形固定資産のみを記載

## 地域別売上収益推移

(億円)

	'22/3期					'23/3期					'24/3期					'25/3期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	
日本	282	249	308	433	1,272	278	333	315	360	1,286	294	310	312	341	1,258	259					259
米州	127	129	126	182	564	170	207	196	228	800	241	251	235	233	960	260					260
欧州	120	107	127	125	478	127	135	198	161	621	160	159	198	200	716	185					185
アジア+中国	101	104	129	123	457	129	168	168	130	595	147	153	163	135	597	158					158
その他	15	10	12	12	48	16	18	18	16	67	15	18	17	13	64	16					16
合計	645	599	702	875	2,821	720	861	894	894	3,369	856	891	926	922	3,595	878					878

# JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1) 主要市場（日本、米州、欧州およびアジアなど）の経済状況および製品需給の急激な変動、(2) 国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3) ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4) 資本市場における相場の大幅な変動、(5) 急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。